



議会だより なよろ



増刊号

令和2年12月1日発行

令和2年7月14日～15日実施

市民との意見交換会 報告



A班 名寄市民文化センター

B班 ふうれん地域交流センター



名寄市議会
ホームページ

も	◎ 議長あいさつ・班別実施状況……………	2
く	◎ 各会場からいただいたご意見……………	3～7
じ	◎ 令和2年度(第1回)「市民との意見交換会」アンケート結果……………	8

コロナ禍の中、ご参加いただいたことに感謝します



名寄市議会議長 東 千春

王子マテリア(株)名寄工場生産品集約に関する議会としての対応、王護支援事業所に関する対応などの大きな課題があることから2班集体で実施しました。

出されたご意見では、新型コロナウイルスに対する市立病院や名寄市の対応について、また様々な不安の声が出されました。

名寄振興公社では、前回は大変厳しいご意見を伺い、そのことを踏まえながら、あり方に関する特別委員会を18回開催し、でき得る限りの情報収集を行う中で、議会として今後のあるべき姿を示したことの報告と、スキー場の指定管理料2500万円の追加について説明し、今後の会社組織や公社の位置付けについて、今後の繰り入れの考えなど、多くの厳しい質問やご意見をいただきましたが、ピヤシリ地区の自然を生かした体験プログラムなどで子どもたちの体験学習などの取り組みへの提言もいただきました。

王子マテリア(株)では、跡地利用や従業員などの今後の方向性についての質問が出されました。

社会福祉協議会では、原因はどこにあったのか、自主返還金の状況について、また今後ケアマネの努力を認めることに対するご意見もいただきました。

その他多くのご意見をいただいた中で、地域の要望事項と共に、政策に関するご意見が多く出されたことが、特徴的だと感じました。またアンケートにも多くの記載をいただきましたが、これらは全部読ませていただいております。今後の参考にさせていただきます。

コロナ禍の中で、ご参加いただいた皆さんに感謝申し上げますとともに、名寄市議会は市民と共に歩み、市民に寄り添う議会でありたいと考えておりますので、今後とも「市民との意見交換会」に多くの皆さんのご参加をお願い申し上げます。

市民との意見交換会 班別実施状況

今回の意見交換会では、議会報告として定例会・臨時会の審議概要、(株)名寄振興公社に関する議会の対応、名寄社協指定居宅介護支援事業所の不正受給・王子マテリア(株)名寄工場生産品集約に関する市の対応、各委員会の活動状況、政務活動費などについて説明をさせていただきました。なお記載されている内容は、7月14日、15日の「市民との意見交換会」でいただいた意見などを一部抜粋しているものであり、4か月以上が経過しているため、現状に合わない意見などもあることをご承知おきください。

A 班		B 班	
班長	東 千春 (議長、市民福祉常任委員)	班長	佐藤 靖 (副議長、総務文教常任委員)
班員	倉 澤 宏 (議会運営委員会副委員長、市民福祉常任委員)	班員	塩 田 昌彦 (議会運営委員会委員長、経済建設常任委員)
	高 橋 伸典 (総務文教常任委員会委員長)		山 田 典幸 (経済建設常任委員会委員長)
	高 野 美枝子 (市民福祉常任委員会委員長)		川 村 幸栄 (市民福祉常任委員)
	黒 井 徹 (総務文教常任委員)		東 川 孝義 (市民福祉常任委員会副委員長)
	佐久間 誠 (経済建設常任委員会副委員長)		山 崎 真由美 (総務文教常任委員会副委員長)
	遠 藤 隆男 (総務文教常任委員)		清 水 一夫 (総務文教常任委員)
	五十嵐 千絵 (市民福祉常任委員)		富 岡 達彦 (経済建設常任委員)
	今 村 芳彦 (経済建設常任委員)		三 浦 勝秀 (経済建設常任委員)
担当会場	智恵文多目的研修センター 10人 名寄市民文化センター 24人	担当会場	駅前交流プラザ「よろーな」 20人 ふうれん地域交流センター 25人

◇各会場からいただいたご意見◇

A班－1 智恵文多目的研修センター 参加者 10人

◆名寄振興公社の問題について

- 問** 監査は、決算報告書と通帳の照合だけではない。管理者あるいは担当も事業内容の間違いなどについては、指導などをしなければならない。今後は、慎重に監査を行ってほしい。
- 答** 振興公社は会社の運営自体ができていなかったもので、専門家にも検証してもらいながら、決裁や経理などがしっかりできるようにした。また経理がしっかりしても、売り上げを増やしていかなければならないので、両面を合わせてやっていくことを名寄振興公社のあり方に関する特別委員会でも求めている。議会としては、これからもしっかりとチェックしていく。

◆新型コロナウイルス感染症対策について

- 問** 観光で東京、札幌などから夏休みを利用して人が訪れる。市立総合病院では、感染者の受け入れなどについて、どの程度考えているのか。
- 答** 市立総合病院では、感染経路を隔離することになっている。医療関係者全てが対応に当たっており、何かあった場合にはすぐに対応できる体制になっている。感染病棟には4床確保されており、さらに増えた場合は、救急治療室を使用すると先般の一般質問で確認している。
- 問** 新型コロナの影響で、各種行事が中止、または形を変えて実施されているが、経済的損失はかなりあると思う。市では、市内飲食店で使用できるプレミアム付き商品券で、消費喚起を促そうと思っても、効果は一時的なものと思う。今後行われる対策などがあれば、伺いたい。
- 答** 追加経済対策として、「名寄市ががんばる中小企業応援給付金」、第2次消費拡大支援事業

「市内店舗で利用できるプレミアム付き商品券」などの市の事業を行うほか、国、道の支援策を活用する。また細かく支援策を講じなければならないということで、経済部を中心に調査なども行われている。

◆智恵文地区の信号機について

- 要望** 智南にタッチ式の信号機があるが、伸びた草にも反応し、信号が変わる。危険であるため、押しボタン式への変更を望む。
- 答** 信号機は市ではなく、北海道公安委員会が管理している。地域で署名活動をするなど、安全対策の要望を公安委員会にした方が変更になる可能性があると思う。
- 意見** 子どもたちの通学路である智恵文小学校の入り口には、信号機がない。利用度が高いところに設置した方がよく、議会でも住民の意向を調べてほしい。

◆有害鳥獣について

- 要望** 有害鳥獣の捕獲数は、今年かなり増えるのではないかと思っている。秋に向かって、しっかりとした対策をとってほしい。

◆智恵文ICの入り口について

- 要望** 高規格幹線道路IC入り口は、2車線が一般的であると思うが、名寄バイパスの智恵文IC入り口は1車線のため、事故などの危険性がある。安全面からも改善が必要であり、開発局へ要請してほしい。



A班－2 名寄市民文化センター 参加者 24人

◆新型コロナウイルス感染症対策について

- 問** コロナ対策では、一回感染者を隔離して、それからどうするかを考えないと感染は増大する。市として、議会として、議員として、感染者が出た場合は具体的にどうするのか。
- 答** 2月6日に名寄保健所主催で会議が開催され、圏域内の自治体、消防、警察などが集まり、協力体制などを確認してきており、名寄保健所の対応をみながら、緊急入院や検査などに対応できる体制をとっている。名寄市では、

感染者はいまだに一人も出ていない。検査入院した方はいるが、全員陰性だった。

◆名寄振興公社の問題について

- 問** 振興公社に対する議会の対応を確認したい。市民にとっては浴場も無くなったし、バスも無料であるため、なよるサンピラー温泉を利用している人は多いと思う。将来的にどうなのか。議会として第三セクターにどのように関わっていくのか。あるいは一議員としてどのように参画していくのか。例えば、会議

や研修で利用しているのか。

答 振興公社をどのようにしていくのか激しい議論があった。民間に任せ方がよいという意見もあった。日の出湯が閉店したので、サンピラー温泉を守っていくことが大きな課題だった。事件性も追求してきたが、市の検証委員会の中で一定程度明らかになった。ピヤシリスキー場の持つポテンシャルを生かせれば、かなりの集客が可能であるが、コロナの影響で様々な大会が中止になり、実質フル稼働でやっていけば、黒字まではいかないまでもとんとんのところまで持っていく。議論を重ねた上、民間のノウハウを生かしながらやっていくとの結論を出した。議会でも今後守っていききたいとの思いから、議員会で活用している。個人でも温泉を利用している。市民の財産として守っていききたい。

問 今後のあるべき姿について、議会としても考え方を振興公社に反映してほしい。どこまで改修するのかを考えたとき、民間委託も視野に入れるべき。改修の方向性によってリニューアルの方法も変わってくる。振興公社の議論もあるが、スキー場、温浴施設の位置付けの議論も市民に分かるようにしてほしい。

答 特別委員会で指摘の件について議論してきている。人口減の中で、市民の利用を基本に施設をいかに有効に使うか。近隣の同様の施設も苦戦しているが、圏域で協力しながらどのように盛り上げていくか、話し合いができないかなど。具体的な改善はこれからである。事務処理については、ほぼ正常になったが、これだけではスキー場、温泉を運営していけない。これからどのように利益を上げるのかについて、専門家にアドバイスをもらっている。インバウンドの計画があったが、しばらくは厳しい。専門家のアドバイスをもらいながら、夏場の利用の少ない時期に自然体験プ

ログラムの計画を作る予定。信頼できる会社があれば、民間委託も視野に入れていくのでは。これからもしっかりと見守りたい。

◆ノースタウンの除雪について

問 毎年ノースタウンの除雪を町内会でやってきたが、中央の建物が邪魔になり、除雪作業に支障をきたしているの、改善してほしい。

答 この問題を以前一般質問で取り上げた。このような要請があったことを担当に伝えたが、除雪の時にドーザーの車高が高く、東西に抜けれない。また花壇もジグザグに配置されているという問題がある。その時の一般質問に対する回答は、「花壇は景観を考えて作ったもので、改めて予算をつけられない。高さ2.5 mの鉄骨でできた雨除けの構造物だが、中心部を取ると構造上の強度に問題が出る。」であった。

問 柱が4本あるので、それさえ残せば問題ないと思うが。

答 屋根だけ外すということも含めて、改めて要請があったことを担当に伝えたい。

◆議員定数等について

問 議員の定数問題は、市民が一番関心を持っているので、各議員の良識ある判断で議論してほしい。

答 議会運営委員会で議論しており、来年の3月を目途に方向性を出す。報酬の議論も同じく進めていきたい。



B班－1 駅前交流プラザ「よろーな」参加者 20人

◆名寄社協指定居宅介護支援事業所の問題について

問 社会福祉協議会の問題では、なぜ多額の返還をすることになったのか。

答 昨年11月8日、「サービス提供が適切に行われていない」ことから、市で監査をすることになった。その結果、やっていないのにやっていると報告するなど、居宅介護支援事業所で適切な業務が行われていなかった。指導事項は6項目にのぼり、「居宅を訪問しない。訪問記録がない。サービス担当者会議を行っていない。」などの不正な行為が行われていた。

問 返還することになった理由はわかるが、何のためにこのようなことをしたのか。

答 なぜこのようなことをしてきたのか、社協で

調査中である。

◆王子マテリア(株)名寄工場生産品集約について

問 王子マテリア跡地はどうなっていくのか。

答 王子マテリア跡地の広さは、南広場の16倍である。跡地利用の考え方に注視している。来年9月にマシンを停止し、12月には稼働停止となる。従業員への対応も必要である。

問 工場跡地にはデータセンターではなく、生産工場を名寄に誘致した方が法人税も入るし、雇用も生まれる。長い期間で考えてほしい。

答 跡地利用について建設的な意見をもらった。再生可能エネルギー、物流・防災拠点、IoTデータセンターの3つを大きな柱にし、今取

り組んでいるが、伺ったことをしっかり担当に伝えていきたい。

◆路面状態について

問 旧公設地方卸売市場～下水処理場～徳田ショッピングセンターに続く道路は、白線が消えているが。

答 所管する建設水道部で道路の凸凹を改修したが、現地を確認するなどの対応を求めたい。道路の改修は財政上の課題があり、国の補助で行ってきている。昨年から名寄市の単独事業として改修にも取り組んでいるが、財政的には厳しい。担当課では認識している。

◆町内会未加入について

問 町内会への未加入が多い。解決できないか。

答 町内会未加入は、どこの町内会でも課題である。町内会連合会と行政も協議している。任期中に方向性が見出せるよう議論を進めていきたい。

◆名寄市への誘客について

問 振興公社に人を呼ぶ方法として、いちご狩りやトマト狩りのようなことはできないか。

答 名寄の農産物は味も品質も優れている。この地域の特性、特色を生かして、多くの人に訪れてもらえるように、参考意見として受け止める。

◆スポーツ大会の応援について

問 夏季も冬季も、スポーツ大会にお客さんがなかなか来てくれないという実情がある。名寄市民が一層盛り上げて気運を作っていないと、うまくいかないのではないかと。議員の力で盛り上げてほしい。

答 市民の応援体制については、ここ何年か各会場でよく言われること。市とどのように連携しながら市民の皆さんにアピールし、一緒に応援していく体制を構築していくかについて、大きな課題と受け止め、頑張る。

◆名寄高校と名寄産業高校の再編整備について

問 両校の再編整備については、一貫して統合が進められてきている。話し合いをしている在り方検討会議のメンバー構成をみると、教員は入っていないし、両校の校長がオブザーバーで入っているだけ。保護者も入っていないという狭い人員の中で論議をして、それがまるで名寄市の意見のようにして、道教委にあげられている状況がある。2校の在り方については、オープンな場で論議すべきだということを市に強く要望しているが、行われず、統合ありきで、市としては7月に要望書を出すという報道がされている。市議会としてどのように考えているのか。

答 7月に道教委に対して出される、公立高等学校配置計画に関する要望書の内容について、

次の総務文教常任委員会で説明を求めることにしており、今まで議会と在り方検討会議の連携がとれていなかった。これについては、議会としても名寄市の教育全体を検討するという考え方において、きちんと精査していかなくてはならないと申し入れをしたばかりである。考え方としては、地元からしっかり現場や子どもたちの将来を考えて要望をあげた方がいいという判断の中で、在り方検討会議が設置され、動いているとは伺っている。具体的な説明を市議会として聞いていないため、しっかり状況を把握したい。

問 2018年に市議会として、これに対してははっきりと批判をし、北海道の広域性にきちんと配慮した小規模校は、小規模校として地元の学校は残すということをすべきだと明確な文書を出しているが、これはどうなってしまったのか。

答 名寄市は教育都市宣言をしている。道立であっても、名寄市の教育について意見書も出してきた。しかし、経過についての確認が不十分であった。もう一度、現時点で名寄の教育をどうしていくのか、名寄の子どもたちの健やかな教育をどうしていくのかということ、原点に立ち返り、みんなで考えていきたいと思う。

◆広報なよろについて

問 紙の媒体自体をなくすことはできないと思うが、ネットを使ってラインなどで広報を送信して、少しでも発行部数を減らし、余ったお金をカーリングなど、スポーツに使ってはどうか。

答 広報の関係はそのとおりだが、名寄市は高齢化が相当進んでいる。色々な媒体を使うという方法も一つだし、もっと読みやすい形をつくるということも一つであり、大きな課題である。昨年、名寄市で大きな課題が浮上したときに、市民の皆さんにしっかり実情をわかっていたくためには、全戸配布の広報の役割は大きい。

◆名寄市議会について

問 人口が2万7千人を切っている。そしてこのままいくと、残念ながら人口的にも、経済的にも、社会的にもどんどん後退をしていく。この現状の中、議会でも今までの対応で、議会の役割を果たすことができるのかということについて、皆さんで率直に意見交換をしてもらいたい。

答 今、議会運営委員会を中心に議会改革をやっている。過去3回の選挙が無競争、無競争、一人オーバーということで、状況からいったら定数削減も必要だろうという声はあると思う。決して我々もその議論は避けようとは思っていないが、定数削減が議会改革の終着

点ではないと思っている。本当に議会がどうやって活性化して動いていくのか、市長と二元代表制の一翼を担う議会として、しっかり理事者側と意見をぶつけ合って闘っているのか、市民の皆さんの声をしっかり反映させられるのか、という原点を今回の議会改革の議論の中でしっかり見据えていきたい。

意見 1年、2年と、かかる問題ではない。早速取

り組んでほしい。



B班-2 ふうれん地域交流センター 参加者 25人

◆名寄振興公社の問題について

問 議会としては冬季スポーツの拠点化、さらには住民の健康増進に不可欠という判断をした中で、一応の結論が出たと聞いている。今回のコロナウイルスの影響によるスキー場と宿泊部門の不採算1,000万円、さらにはスキー場と宿泊部門を一体として考えた場合の恒常的な不採算1,500万円、合わせて2,500万円だが、これについては、今回の補正で終わるのか、それとも来年も続くのか。

答 今回の2,500万円は、公社だけではどうしても自力で乗り切れないという考え方で、あくまでも公社が自立に向かう支援の金額である。現段階で、続く・続かないという答えはできる状況にない。再生のスタート台に乗る過程での取り組みと理解をしてほしい。

問 今までの運営に無理があると感じている。二度とこのようなことが起こらないように適正な額の委託ということで、議会としての対応をお願いしたい。

答 特別委員会を解散したが、今後は所管の経済建設常任委員会で議論していくことになる。今回のコロナウイルスの影響が今後どのように振興公社の経営に関わっていくのか、あるいはさらに指定管理料をどのようにしていくのか、まだまだ議論していかなければならないと思う。しっかり考えて市民の皆さんが納得できるような方向性を見出していく。

◆名寄社協指定居宅介護支援事業所の問題について

問 行政指導による1億2,076万7千円の自主返還と伺った。この額は市の中でどのように処理するのか。一般会計に繰り入れて終わりか。処理の仕方について議会としてどのように考えているのか。

答 行政処分は774万4,352円、自主返還は1億2,076万7,330円だが、これは名寄市の負担ではなく、社協で支出をしたお金である。あくまでも社協の中での色々な問題であり、社協の中で特別委員会が設置され、その中で今議論が深められていると聞いている。その部分には議会としても入っていけないので、理解をしてほしい。

◆新型コロナウイルス感染症対策について

問 国は莫大な財政支出を行い、各市町村も独自に財政支出を行っている。今後どうなっていくのか。

答 今行っている新型コロナウイルス関係の経済対策について、名寄市としては先に1億3,000万円位の支援を打ち出したが、その後に国から地方公共団体の取り組みを支援するとして、名寄市に1億7,000万円位が配分されることになった。本当に国から配分されるお金だけで名寄市の経済がもつのか、もたないのかということ、見据えていかなければならない。幸い名寄市は、財政調整基金などへの積立額が約100億円あるので、その有効活用ということも一つ考えていかなければならない。将来の財政負担に対する積み立てと想っていたが、ある意味で効果的な対策は独自でもやっていかなければいけない。

問 今回のコロナの感染騒動について、国の方針も、道の方針もあるだろうが、名寄独自のあり程度の緩和措置を取れないのか。

答 いつまでこの状況が続くのかという心配がある。今、名寄市は対策本部の中で、国、あるいは道の方針に基づいて、新北海道スタイルでやっているが、どのようにやるのが市内の色々な活動を停滞させないで、なおかつそれぞれの楽しさや生きがいを見出していけるか、というスタイルを検討する時期に来ているという気がしないでもない。持ち帰って、考えていきたい。

◆国道の防雪柵設置について

問 風連の市街地から名寄の境界20線は、非常に雪が吹き込む。国道で何年か前も車が渋滞して通れなかったことがあった。風連市街地の外れから名寄の20線までの防雪柵設置を、議会・行政との連携の中で国に早急をお願いしてほしい。

答 国道40号の吹雪時の道路状態というのは十分わかっており、特に今年はJRも防風林を全部切ったので心配している。交通事故をどうやって防いでいくかは大きな課題であるので、有効な手立てをしていかなければなら

い。所管の経済建設常任委員会で考えていく。

◆空き家対策について

問 市街地、また農村部においても空き家が相当目立つようになってきている。大雨または暴風などで、屋根や壁が散乱する可能性もあるし、特に子どもなどが通行すると被害に遭う可能性もある。具体的には、風連の市街地に何軒かある。空き家対策委員として色々と申し上げたが、地権者との関係があり、なかなか進んでいないようだ。行政と議会で協議し、なるべく早急に解決できるよう検討してほしい。

答 空き家のことは当然風連のみならず、名寄もそうだ。私の町内会にも潰れた家があるが、やはり地権者がわからない。探っていくてもどこがどうなっているのかわからない。市として、美観や住民の安全上を含め、考えていかなければいけない課題である。宿題と受け止めて、今後の議会活動の中でやっていきたい。

◆名寄市がんばる中小企業応援給付金について

問 商工業協同組合でポポちゃんカードを発行している。加盟店の売り上げが下がると活動資金がなくなってきて、風連地区の色々なイベント、子ども会に対する支援金事業などができなくなる。このままでは組織が運営できなくなって、存続も危うくなってくる。がんばる中小企業応援給付金で、ある程度お願いできないかということで、打診をしたところ、あくまでもこれは中小企業基本法に則った中小企業が対象なので、組合などは対象外という返事を商工会の担当者からもらった。地域の事情に応じて柔軟な対応をできないか。

答 経済建設常任委員会の所管であり、行政に対して要請をしていることは聞いている。検討していないわけではないと思うし、改めて今回の意見交換会で意見をもらったということで行政側に伝える。

◆ピヤシリスキー場の運営について

問 今の状態で振興公社が自力で回収できるとは

思えない。外部から色々な人の意見を聞いてやっていると思うが、スキー場に関して言えば、私の先輩もスノーボードの大会を誘致するなど、色々やっている。外から人を呼び込むだけでも、経済効果はあると思う。そういうことを現場の人間とパイプをしっかりとつないで、市としてもそこにお金をつぎ込めるなら、温泉を直すより経済効果はあると思う。

答 これまで振興公社については、議会に経営状況を報告するというだけしかなかった。これからは色々な面で浮き彫りにしていったらいい。名寄の冬季スポーツの核、あるいは観光の核であるスキー場をどうやって残し、やっていくのか、原点に戻って一から見直す時間を与えてもらったと思っている。一人でも多くの皆さんが理解できて、協力ができて、なおかつ楽しい名寄市になっていくように努力していきたい。

◆議会だよりについて

問 本配信された議会だよりに、前回は「市民との意見交換会」のアンケート結果が記載されているが、あなたの年齢は？との質問に対する回答結果で、これから名寄市を担っていかなければならない20代、30代、40代の回答数が少ない。議会だよりが若い人に分かりやすくするような努力や、若者も興味を引くような市政をやってほしい。

答 私たちが基本としていることは、中学生、高校生が読んでもわかるように、振り仮名なども含めて検討しているところであるが、今の意見をしっかりと受け止め、検討していきたい。



実施報告会を開催し、議員間で情報共有を図る

市民の皆さんからお寄せいただいたご意見やご要望などについては、議員間の情報共有および共通認識を図るため、8月31日に全議員参加による実施報告会を行ったほか、9月7日に東議長、佐藤副議長らが市長に情報提供を行うとともに、「市民との意見交換会」の内容を踏まえ、市長に要望などを行いました。



令和2年度(第1回)「市民との意見交換会」アンケート結果

※回答内容につきましては、紙面の都合上、自由記載を中心に掲載しております。

問 あなたの年齢は？

①20代(0人) ②30代(3人) ③40代(4人) ④50代(6人)
⑤60代(20人) ⑥70代以上(36人) 未回答(10人)

問 あなたの性別は？

男(55人) 女(11人) 未回答(13人)

問 今後、市民との意見交換会について改善すべきことがあればお書きください。

▶各会場に出席する市民が少ない。(2件) ▶特に女性の出席をもっとアピールするべき。▶若い世代の参加を促すこと。(2件) ▶名前が分からないので、議員や席にネームをつけてほしい。▶ただ意見や要望をぶつけて述べるのではなく、具体的な項目を1、2点要望した方が分かりやすく、聞く方も分かりやすい。長々と話しては誰も聞いていない。▶現在の交換会ではなく、議会報告を聞いて議員を入れてグループ別に交ざりあって、意見などができる会でもいいと思う。▶時間が短い。(5件) ▶議員の自己紹介は必要ないと思う。▶意見交換ということで、市民の声を広く聴くという意味では、いつも特定の人発言が多く残念。▶たまにジグスカンを囲みながらも良いかも。▶事前に質問事項などを受け付けて開催すると、もう少し質問が出るのかなと思った。(2件) ▶たくさん意見を出してほしいと言いつつ、時間を決めるのはおかしい。せめて意見があれば、21時までお願いしたい。▶資料はもっと簡潔にしてほしい。

問 議会に対してご意見等があれば、自由にお書きください。

▶市民生活の安全と、安心できるようにこれからもお願いする。▶「市民との意見交換会」で、参加者の質問に丁寧に答えようとする姿勢は伺われた。▶市長としっかり対峙する議会であってほしい。▶議員は大変苦勞して活動していると思うが、市民から見るとやっぱり分からない。▶鉄道の廃止は名寄までなのか、旭川までなのか。名寄以北の物流の拠点にはならないのか。▶今後の議員の活動を期待する。▶王子マテリアの工業用水は将来的にも活用し、環境保全のため、豊栄川に流し続けてほしい。▶カーリング場の利用期間を延ばしてほしい。▶議会は行政との両輪なので、お互い切磋琢磨し、協力し合って前進してください。議会を信じている。今後は老人問題関連について充実を願っている。▶日頃の議会活動大変ご苦勞様。議会だよりも毎回見ている。▶議会がリーダーシップを取るような元気を出してほしい。▶みんなが選挙で選んだ市議会議員の活躍している姿を見て、意見交換ができ、私は本当にこの人に1票入れて良かったと思う。▶社協が事業所取り消しにならなかったこと、今、民間事業所で同じ事例が出た場合には、取り消しを行えないこととなるが、議会としてどのように考えるか。▶広報や議会だよりは右とじだが、会議資料はほとんど左とじであるが、統一できないのか。▶形式的なものにならず、市民のための議会！という意識でこれからも頑張してほしい。▶2度の冬季国体を開催し、かつて小中学校ではスキー市技指定の取り組みがあった。数年前には各学校に電子黒板が配備されたなどと、記憶しているが、効果などの広報もなく、有耶無耶のうちに忘れられている気がする。もっと丁寧な対応をしてほしい。▶なかなか議会傍聴の機会がなく、今回のような意見交換会は聞きやすく、非常に良いことであり、為になった。(2件)▶地元観光があっても良いと思う。▶議員定数2名減はどうか。▶王子マテリア撤退のため、若い世代の町内会人口減は残念。名寄での就職先をお願いしたい。▶俳名寄振興公社の今後のあり方については大変難しいことだが、議会、議員として市民の声を大きく反映してほしい。▶名寄市の人口減少傾向がみられる。王子マテリアの撤退でさらに拍車がかかるのでは。人口減少が最低限に収まるような施策を議会として推し進めてほしい。▶名寄市をよろしく願います。▶議員定数についてじっくり考えてほしい。▶もっと市長と連動して、行動的になってほしい。